

外来診療担当表

※保険証は毎月必ず総合受付へご提示ください。



午前の診察

担当科	月	火	水	木	金	
内科	1診	高屋	縄田	早川	永井	高屋
	2診	永井	早川		小野木	縄田
	3診	山内	堀部	足立	岩間	大野
	4診	鶴見	大野		後藤	後藤
	5診	田中	高屋	湊口	縄田	永井
	6診	齋藤	齋藤	山内	齋藤	齋藤
小児科	大西		大西			
乳腺センター	山本	山本	山本	石原	高橋	
外科	1診	高橋	石原	石原	高橋	山本
	2診	鷹尾	田中(秀典)	棚橋	田中(秀典)	鷹尾
整形外科	1診	益田(初診担当)	当番	益田	益田	山口
	2診	高見		高見(初診担当)	山口(初診担当)	高見
	3診	佐藤	番制	山口	佐藤(初診担当)	佐藤(初診担当)
脳神経外科	川崎		中山			
皮膚科					安達	
泌尿器科	小林	小林	小林	小林	小林	
婦人科		森		鈴木		
眼科		高橋			望月	
耳鼻咽喉科				若岡		
総合内科			川島			

午後の診察

平成26年11月1日現在

担当科	月	火	水	木	金	診療時間
内科	循環器	小野木				13:30~15:00
	神経	原田			竹腰	13:30~16:30 (予約制)
	血液				北川	14:00~16:30 (予約制)
	糖尿病				岩間	(予約制)
	呼吸器 禁煙外来				加藤	13:30~15:00 (予約制)
乳腺センター				当番医	14:00~15:00 (完全予約制)	
緩和ケア科	西村		西村		西村	14:00~15:00 (完全予約制)
形成外科		神山				13:00~15:00 (完全予約制)
耳鼻咽喉科	棚橋					14:30~16:30
皮膚科 (褥瘡外来)			野田			15:00~16:30 (予約制)
放射線治療					小林	(完全予約制)

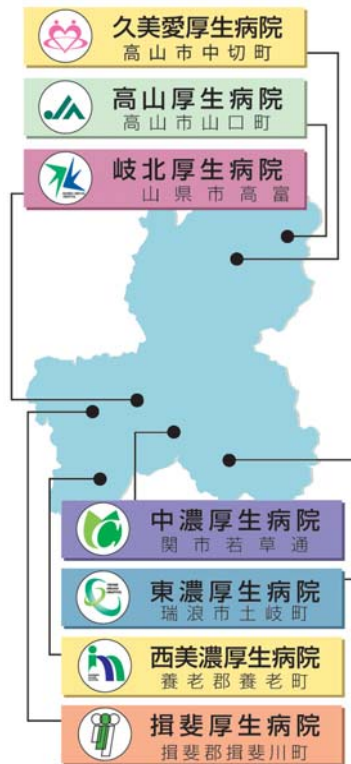
担当医の出張などにより休診、代診となる場合があります。又診療曜日は毎月変更となりますので事前にご確認ください。

休診日 土・日・祝祭日・年末年始

婦人科…9:00~11:30(火・木曜日のみ)
 脳神経外科…9:00~11:30(月・水曜日のみ)
 眼科…9:30~11:30(火曜日)
 9:00~11:30(第1、3、5金曜日のみ)

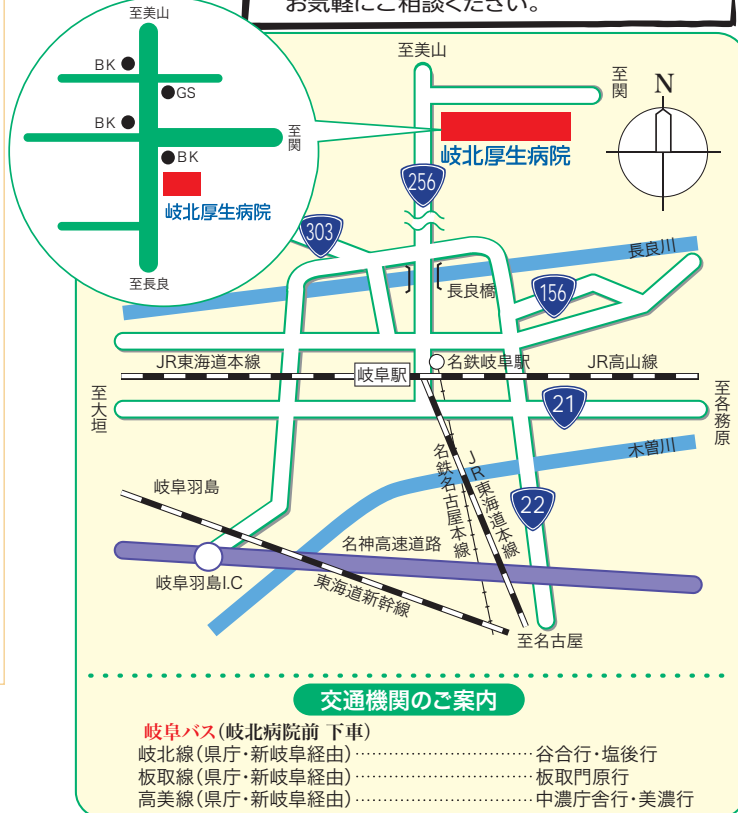
看護師・看護補助員募集中

岐阜県厚生連病院所在地



医療福祉相談室

在宅や病院での療養上の相談、退院に向けての助言、援助を行っています。お気軽にご相談ください。



ボランティアの方を募集します。
 …詳しくは医療福祉相談室まで…

青空



病院の理念

- 1.医療活動を通じ、健やかなまちづくりに貢献
- 2.地域連携の積極推進により、利用者にとって最良の医療を実践
- 3.つねに病院運営の刷新を図り、「愛され、信頼される病院」を実現

岐北厚生病院 広報誌 2014.11.1発行

2014 秋号 Vol.62

- 大腿骨近位部骨折について
- がん看護専門看護師の活動について
- ふれあい看護体験
- 職員紹介
- 外来診療担当表
- その他

62号目次

大腿骨近位部骨折

について



整形外科医師 山口良大

大腿骨近位部骨折は、大腿骨頸部骨折と大腿骨転子部(転子間、転子下)骨折の総称です。多くは骨粗鬆症を基盤としている高齢者に転倒などの軽微な外力で発生します。(脆弱性骨折)若年者では交通事故などの高エネルギー外傷によって発生します。

治療ガイドラインによると、本邦では2007年での発生数は約15万例、高齢者での発生率は男性より女性が高く、2020年には約25万人、2030年には約30万人、2042年には約32万人の骨折患者が発生すると推計されています。

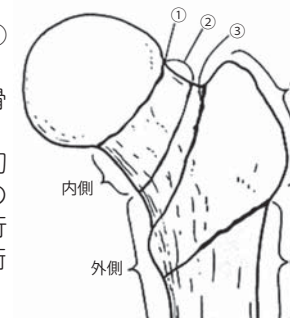
骨粗鬆症治療の進歩により先進国では減少傾向にある中、まだまだ高い発生率を有しております。

また下肢の外傷ではありますが、予後とも密接に関係しており、発生後の1年後の死亡率は1-2割以上とも報告されており、また受傷後の運動能力の低下にて、寝たきりの原因になるなど大きな社会問題ともなっております。

現在の一般的な治療方針は出来る限り早期(受傷後1週間以内)に手術治療を行い、早期離床を促しリハビリ治療を行います。手術治療の術式は骨折分類によって決定します。

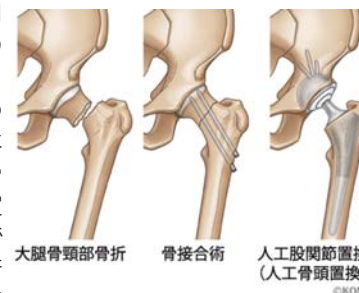
●大腿骨頸部骨折(図の①、②部位での骨折)

股関節内に骨折線を認める骨折です。転位(ずれ)の程度にて、骨を温存した骨接合術か、最初から人工物(インプラント)への置換を行う人工骨頭置換術を行います。どの術式も基本的には術後より全荷重歩行は可能です。



●大腿骨転子部骨折(図の③、④、⑤部位での骨折)

股関節外に骨折を認める骨折です。基本的には骨接合術を行います。骨接合術には髓内釘固定術を行うことが一般的です。ほとんどの症例で術後より全荷重歩行は可能です。



当院での術後のリハビリの方針は、術後リハビリにて自宅生活可能なADLが達成できるのであれば当院からの退院を、長期のリハビリを要する場合や希望される場合は「大腿骨頸部骨折地域連携パス」を利用し周辺の回復期協力病院様への転院リハビリをおすすめさせていただいております。

当院の2012年の集計では、総数は75例(頸部骨折44例、転子部骨折31例)、平均年齢83.3才、人工骨頭置換術34例、骨接合術40例、保存治療1例、術前待機期間2.6日、平均入院期間26.8日です。積極的に短い待機期間での手術を行っております。

今後は、骨折の原因である「骨粗鬆症」の治療や、近年のトピックとなっている「ロコモティブシンドローム」(ロコモチャレンジで検索!)の啓蒙によって積極的に新規の骨折や、再骨折の予防を行っていく必要があります。当院では「骨粗鬆症」は積極的に、発見、治療を促しております。ご心配のある方は整形外科外来でご相談下さい。

がん看護専門看護師の活動について



がん看護専門看護師
田上知江美

がん治療は日々進歩し、現在では治癒も望めるようになってきました。しかし、がんと診断された方の中には、「今後、自分はどのようなのだろうか?」と、さまざまな不安を感じられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

がん看護専門看護師は、がんと診断された方やそのご家族の治療への不安や迷い、治療の副作用や病気そのものからくる体の症状、心の落ち込み、家庭や職場の役割が果たせないことによる悩み、そして、生きる意味を感じられないといった苦しみに対して、さまざまなケアを行うことを役割としています。がんと診断され、これから治療を始められる方、治療中の方、治療が難しくなった方とご家族をサポートします。また、患者さんやご家族を支える看護師も多くの悩みを抱えています。患者さんやご家族が、満足する看護を受けられるためには、看護師の悩みを解決する必要があります。がん看護専門看護師は、看護師から患者さんやご家族に関する相談を受けたり、教育を行ったり、共同研究も行っています。さらに、医療職者間の意見の調整を行うなど、患者さんやご家族が効果的なチーム医療を受けられるようにするための役割も担っています。

現在、緩和ケア病棟に所属しながら、外来や一般病棟でがん治療を受けられる患者さんやご家族、そして、訪問看護を受けながらご自宅で療養をされている患者さんやご家族のケアも行っています。がん看護専門看護師となって1年が経とうとしているところであり、まだまだ未熟ではありますが、医師や認定看護師、さまざまな医療職者と連携を図り、患者さんやご家族の抱える問題の解決に向けてともに取り組んでいます。また、私自身が悩んだ時は、県内外の専門看護師に相談したり、勉強会や学会等に積極的に参加するなど、解決のための自己研鑽を続けています。

私は、患者さんやご家族が、どのような状況に置かれていても、ご自身の意志を大切にしながら、安心した療養生活を送ることができるように、患者さんやご家族が持っておられる力を最大限に引き出し支える看護をしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



ふれあい看護体験

担当師長
森本 さき子

当院において、8月6日高校生を対象に「ふれあい看護体験」を行いました。ふれあい看護体験は、「看護の日・看護週間」の行事の一環として行っています。今年度は、12高校から16名(男性2名を含む)の参加がありました。各病棟2~4名ずつに分かれ担当看護師とともに、検温の見学、血圧測定の見学、足浴の介助、洗髪の見学・介助、車椅子での移動の方法等、実施しました。今年度から新たに緩和ケア病棟での体験も加わり6病棟での体験となりました。体験の感想として

- ・看護ケアを行いながら常に状態を観察し、患者さんへの声掛けを行う看護師とのかかわりにふれ、コミュニケーション能力が大切だと感じた。
- ・緩和ケア病棟では、音楽療法に参加し、患者さんとふれあいながら歌を歌う体験をした。病棟の雰囲気、落ち着いた感じでも居心地がよかった。まるで家にいるような空間が得られた。
- ・理学療法士、男性看護師からの話を聞くことがで

き、看護師の仲間にやさしくしてもらい、楽しく働いているという事がわかった。等、聞かれました。

- 午後からの、懇談会では、
- ・ふれあい看護体験を経験して自分の将来についてもう一度見直すことができ、看護師に「なりたい」という気持ちが強くなった。
- ・実際どんなことをするのか学べてよかった。
- ・看護師からやさしく教えてもらい、色々体験でき参加してよかった。

という意見が聞かれました。最初は緊張していましたが、担当看護師ともコミュニケーションがとれ、個々に得るものがあつたようです。高校生の豊かな感性に触れ、私自身も「看護について」再認識する良い機会となりました。今後も看護体験に参加していただき、一人でも多くの方が看護職を目指してほしいと思います。

「ふれあい看護体験」オリエンテーション

〈テーマ〉 看護の心をみんなの心に
キャッチコピー 「看護は元気をリレーする」

〈目的〉 患者様とのふれあいを通して、看護することや、人の命の尊さについて理解と関心を深める。

〈プログラム〉

- 9:00 受付・更衣
- ・担当者が更衣室に案内します。
- 9:30~10:00 オリエンテーション・写真撮影・実習説明
- 看護部長あいさつ「看護師の仕事について」
- ふれあい看護体験スタッフ紹介
- 参加者自己紹介
- 10:00~10:30 病院内見学
- ・4Gに分かれて見学します。
- 休憩
- 10:30~12:00 看護体験
- ・検温の見学、血圧測定
- ・着替えの手伝い、手浴・足浴の介助
- 寝たきり患者さんの洗髪の手伝い
- 清拭の手伝い
- ・車椅子介助
- ・食事の配膳、食事の介助等
- 12:00~13:00 昼食
- アンケートの記入・体験の感想文作成
- 13:00~13:30 懇談会・体験の感想等発表・質問
- 13:30~14:00 修了証書授与
- 14:00 更衣・解散



はじめまして職員紹介



放射線科
岡田かずき

このたび人事異動により、揖斐厚生病院より転勤してまいりました。とても雰囲気のいい病院で安心しています。皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

わたしはこんな人

- 自分を動物にたとえると?
うし
- 好きな食べ物
お肉
- マイブーム
レオンチャンネル
- 血液型
O型